

授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	①人の心身の発達に関する確かな知識を身につける ②人の学習過程に関する確かな知識を身につける ③保育現場で経験した出来事を考察する際に、その手がかりとして心理学的基礎知識を用いられる力を養う ④習得した知識をもとに、実践の保育・教育現場に役立つ子ども理解ができる力を身につける ⑤発達心理学と教育心理学の視点を活かして子どもと関わる力を身につける
教科書・参考書	
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業の前後で対応します。
備考・メッセージ	*学生プレゼンでは、テーマに基づいた調査研究、研究方法、データを紹介しながら問題設定と関連づけること。